

ガバメントクラウドファンディング(サル共有放飼場)に関する Q&A

Q	A
<p>GCF(ガバメントクラウドファンディング)とは？</p>	<p>政府(自治体)が行うクラウドファンディング。地域の課題解決に、寄付を通じて寄付者の意思を反映することができる。(株)トラストバンクが運営するふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」の仕組みを活用しており寄付附者は寄付に対して税額控除を受けることができる。 (「ガバメントクラウドファンディング」は(株)トラストバンクの登録商標)</p>
<p>今回なぜ GCF を行うことになったのか？</p>	<p>寄付呼びかけのキャンペーン展開することを通じ、一定の財源確保が見込め、かつ施策の市内外へのPR効果が見込める、さらに動植物園の魅力向上にも繋がるものと考え、R7 当初予算において措置したものを。</p>
<p>返礼品はないのか？</p>	<p>今回のGCFに関しては、返礼品のない「寄附型」タイプとなっている。ただし、制度上返礼品にはあたらぬ形での「寄附特典」をつける。 特典A)共有放飼場の内覧ツアー・エサやり体験及びワークショップ (抽選により 20 組 40 名様) 特典B)市川市動植物園オリジナルグッズ(抽選により100名様)</p>
<p>特典 A)について具体的にどんなものか？</p>	<p>施設完成後、20 組 40 名を動植物園に招待し、 ①一般には立ち入れない放飼場内を職員が案内 ②サル舎において、放飼場を使用する予定のサル達にエサやり体験 ③記念写真を撮影しての缶バッジ制作ワークショップ 以上のような約半日のツアーを予定している。</p>
<p>特典 B)について具体的にどんなものか？</p>	<p>詳細は未定だが、ポストカード・缶バッジ・キーホルダーなどのオリジナルグッズを制作し、100 名に発送する。</p>
<p>サルの共有放飼場はどのような施設か？</p>	<p>モンキーゾーンで飼育されているポリビアリスザル、マンドリル、エリマキキツネザルがより快適に過ごせるよう、それぞれのサルが日替わりで使える共有の遊び場。 日当たりの良い場所で、サルたちが日光浴をしたり、遊び回る姿を、より間近に楽しむことができる。 また、サル舎側との連絡通路を園路内頭上約3メートルの位置に設置するため、サルたちがそこを通る際は、迫力のシーンが見ものになる。</p>

<p>多くの動物を飼育しているなか、どうしてサルの共有放飼場整備が選ばれたのか？</p>	<p>動植物園はS62.8.21に開園し間もなく40年になる。全体的に施設の老朽化が目立つ中で、動物たちがストレスなく生活できるよう、飼育環境を良くしていくことがまず求められている。そうした視点で、スペースの広さ、日当たり、また「アパートメント方式」の展示方法となっている小型のサルについて、優先的に改善を図ることが必要と判断したもの。</p> <p>新しい共有放飼場を日替わりで使用させることで、現在以上に日当たりが良く、また広々としたスペースで遊ばせることができ、また来園者も観察を楽しむことができると考えている。</p>
<p>放飼場の整備期間は？</p>	<p>現在設計などの準備中。そのため現時点での工期は未定であるが、令和7年度内の完成、お披露目を目指している。</p>